

平成28年度 えりも高校第1回授業評価アンケート結果分析

アンケート実施期間：6月6日～6月17日

質問項目（各教科・科目共通）

教科担任 に関する 項目	①	授業のねらいやポイントがわかりやすい。
	②	生徒が取り組みやすいように、準備や展開に配慮がなされていた。
	③	一方的な説明でなく生徒自身が考えたり、工夫したり、意見・考えを交流・発表したりできるような授業であった。
生徒自身 に関する 項目	④	授業規律を守って学習している。
	⑤	授業に積極的・主体的に参加している。
	⑥	授業で基礎的・基本的な知識や技能が習得できている。

○生徒の評価

4～1の段階で評価する。

4	そう思う。
3	どちらかというと思う。
2	どちらかというと思わない。
1	そう思わない。

○評価の段階

生徒の評価の平均を以下の評価とする。

4以上	A評価
3.25以上	B評価
2.5以上	C評価
2.5未満	D評価

国語科

1 評価が高かった項目について

- どの授業においても授業規律の項目は高かった。この結果を踏まえ、今後も授業規律をしっかり守らせ、継続させていく。また、各単元や各授業における「ねらい」を明確にし、生徒自身が目的を持って学習に臨めるように心がける。

2 評価が低かった項目について

- どの授業においても、④については他の項目より低く評価している傾向がある。生徒自身の活動を増やすなど、生徒自身が「主体的に参加している」と思える授業の組み立てを工夫する。
- 1年古典について、板書やプリントなどを工夫し、あとから見てもわかりやすい内容となるような授業を組み立てていく。
- 3年現代文については、生徒が主体的に取り組めるような展開をしていくとともに、視覚的にわかりやすいように板書の内容や表現を工夫する。
- 3年現代文読解については、ポイントを絞った解説を心がけていくようにする。

3 その他に気付いた点や、今後行っていきたい活動

- お互いの授業を見学するなど、授業の改善に努めていく。
- 国語科の中で話し合いをするなど、積極的に勉強をしていく。

地歴公民科

1 評価が高かった項目について

- ①②③の項目について、2・3年日本史Bの評価が高かった。
→本時の課題（テーマ）の明確な提示と、板書とノートの一体化を図る取り組みなどが効果的にはたらいたのではないと思われる。今後も継続して行っていきたい。
- ④の項目について、全学年とも評価が高かった。

→授業規律が定着していること、授業開始の挨拶もきちんとしており、生徒たちが授業への意識の切り替えをしやすいムードが醸成されていると思われる。

2 評価が低かった項目について

- ・③の項目について、3学年世界史Bで低い評価になっていることがあげられる。
→生徒が考える、自ら作業するなどの場면을意識的にとっていきたい。

3 その他に気付いた点や、今後行っていきたい活動

- ・⑤の項目について。
話すことが苦手な生徒にとっては、特に自己評価が低くなる傾向がある。
積極的・主体的に発言するという意味を、声に出して発言するだけが積極的・主体的であるというわけではないということを、生徒にも感じてもらえるように、考えをまとめる（書く）であるとか、グループ学習の中での役割分担であるとか、教師側が多彩なアプローチを示していく必要があると感じる。
- ・⑥の項目について
学力下位層の生徒ほど、特に自己評価が低くなる傾向がある。
基本的な知識などが本時の授業で習得できたと実感できるような振り返りの場面を増やし、達成感を感じることで自己肯定感が得られるよう、工夫をしていきたい。

数学科

1 評価が高かった項目について

①～②の項目は、全学年ともほぼA評価であるので、内容・進度ともに妥当であると考えられる。今後も生徒ひとりひとりに対応したきめ細かい指導を心がけていきたい。④についても全学年ともほぼA評価であるので生徒自身で自分を律していることがうかがえる。

2 評価が低かった項目について

③についてB評価がみられたが、授業によっては予備的な授業の方がいい、という意見もあった。生徒のニーズに合わせて改善していきたい。⑤⑥の項目でもB評価がみられることから、数学に対する自信のなさうかがえる。生徒の動きを確認しながら、きめ細かい指導を心がけていきたい。

3 その他に気付いた点や、今後行っていきたい活動

今後も習熟度別授業の特性を活かし、生徒の理解度に応じた指導を心がけていきたい。

理科

1 評価が高かった項目について

①の「授業の狙いを明確にしている」が比較的高評価であった。今後も授業のはじめに目標や内容を示すことを続けていきたい。

- ・④「授業規律を守っている」
今後ともメリハリを持って授業を受けさせたい。

2 評価が低かった項目について

- ・②「授業の進め方・速さはちょうどいい」
生徒の様子を見ながら進度を考えていきたい。

- ・⑤「授業に積極的・主体的に参加している」
生徒が書いたり、発言したりする主体的な活動を増やす

3 その他に気付いた点や、今後行っていきたい活動

- ・学力差の広い集団に対して授業を行うため、苦手な生徒に対してフォローしたり、上位層が意欲的に取り組める課題を用意するなどの工夫を行いたい。

保健体育科

1 評価が高かった項目について

- ・授業規律の徹底を継続する。
- ・生徒が積極的、主体的に参加できる授業にしていく。

2 評価が低かった項目について

- ・特になし

3 その他に気付いた点や、今後行っていきたい活動

- ・1年生女子体育で⑥の項目がBだったので、基礎的、基本的な技能の習得を重点的に取り組む。

英語科

1 評価が高かった項目について

①～④の項目についておおむね高い評価を得ている。授業に関して各担当が様々な工夫を凝らした授業を展開していることが理解されていると思われる。また、授業規律に関してもそれぞれ守って学習していると言えるであろう。

2 評価が低かった項目について

⑤～⑥に関して、特に習熟度別の学力下位層クラスでの評価が高くない傾向がある。基礎的な力が不足しているため、「積極的な参加」というのは難しいことが考えられるが、工夫して取り組ませたい。

3 その他に気付いた点や、今後行っていきたい活動

インタラクティブな活動が「英語会話」に集約されているため、2～3年生になると急速に無くなってしまう。コミュ英や英語表現が習熟度別をやっていることもあり、困難な状況になるが時勢を考えると検討していく必要があると思われる。

家庭科

1 評価が高かった項目について

1の学習のねらいは「本日の学ぶ目的」として、全学年、ほぼ毎時間記載している。2は準備や取り組みは課題を明確にし、改善している。3は説明に関しては、考えさせる、発表、グループ交流をさせているため、4は全体・個別の注意をしている。5主体的に取り組むために自己肯定感と評価を連動させている。6は繰り返している。

2 評価が低かった項目について

生徒のレベルと内容のレベルが一致していない生徒ほど、項目が低い傾向が見られる。個別の対応をよりきめ細かに見ていくために、自己評価シート等を取り入れる。また、アンケートの用語と一致していない気がする。例えば、授業で学ぶ目的を明記しても、学習のねらいととらえていないなど、言語理解の向上をさらにしていく。

3 その他に気付いた点や、今後行っていきたい活動

意欲が高いクラスほど、授業規律が守られ、学習に対する考えが進路実現や将来につながっている傾向がある。また、普段の行動を客観ししている。自己の行動について、大人としての扱い、自覚を持たせたい。学校は学ぶ場であるという基本をもう一度考えて授業を取り組みたい。

情報科・商業科

1 評価が高かった項目について

- ・教師側の活動は全体的に評価が高かった。
- ・実技系の科目が多く、生徒が集中しやすい環境にあったことが要因として考えられる。

2 評価が低かった項目について

- ・「授業で基礎的・基本的な知識や技能が習得できている」という項目が全体的に低かった。
- ・低かった項目について、授業を進めるペースや小テストを定期的に行い、改善していきたい。

3 その他に気付いた点や、今後行っていきたい活動

- ・なし